

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【公開番号】特開 2001-286881 (P2001-286881A)

【公開日】平成 13 年 10 月 16 日 (2001.10.16)

【出願番号】特願 2000-108478 (P2000-108478)

【国際特許分類】

C 0 2 F 3/06 (2006.01)

B 0 1 D 65/02 (2006.01)

C 0 2 F 1/44 (2006.01)

C 0 2 F 3/30 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 3/06

B 0 1 D 65/02 5 2 0

C 0 2 F 1/44 K

C 0 2 F 3/30 Z A B B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 10 日 (2007.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 原水を固液分離するとともに、原水中の汚染物を生物学的に処理する水処理装置であり、分離槽と、分離槽内に備えられた分離膜モジュールと、分離膜モジュールの下方の分離槽内に備えられ、分離膜モジュールに向けて酸素含有気体を発生する散気手段とを有し、分離槽内の分離膜モジュールの側方の一部には、炭素繊維からなる横系が互いに略平行にシート状に配列され、前記横系の配列間隔が 1 列以上の縦系によって保持されたシート状物であり、前記縦系がラッセル編みを形成していて、編み目には前記横系が通されて固定されている炭素繊維シート状物により構成された炭素繊維ユニットが備えられている水処理装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の水処理装置を備えていることを特徴とする水処理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

本発明の水処理装置は、原水を固液分離するとともに、原水中の汚染物を生物学的に処理する水処理装置であり、分離槽と、分離槽内に備えられた分離膜モジュールと、分離膜モジュールの下方の分離槽内に備えられ、分離膜モジュールに向けて酸素含有気体を発生する散気手段とを有し、分離槽内の分離膜モジュールの側方の一部には、炭素繊維からなる横系が互いに略平行にシート状に配列され、これら横系の配列間隔が 1 列以上の縦系によって保持されたシート状物であり、前記縦系がラッセル編みを形成していて、編み目には横系が通されて固定されている炭素繊維シート状物により構成された炭

素繊維ユニットが備えられている水処理装置である。また、本発明の水処理システムは、上記の水処理装置を備えていることを特徴とする。